

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ～2日	4月 ～9日	4月 ～16日	4月 ～23日	4月 ～30日	5月 ～7日	5月 ～14日	5月 ～21日	5月 ～28日	6月 ～4日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	9	30	19	25	24
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	6	7	37	13 (14)	22
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2	2	3	2 (3)	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2	5	1	1	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5	4	3	3	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	1	3	2	1
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0	2	7	2	4

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の2件はそれぞれアエロモナス、プレジオモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第22週(5月29日~6月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類 別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一 類	0	発生なし	0							
二 類	10	結核	10			2		3	1	4
三 類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					2		
四 類	8	日本紅斑熱	8			6				2
五類全数	5	アメーバ赤痢	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1						
		播種性クリプトコックス症	1					1		
		梅毒	2							2

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
北 部 … 三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第22週 5/29～6/4)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり今年の累計は5件となりました。

例年、気温が高い時期に感染者が多くなる傾向があり、注意が必要です。感染予防を徹底しましょう。

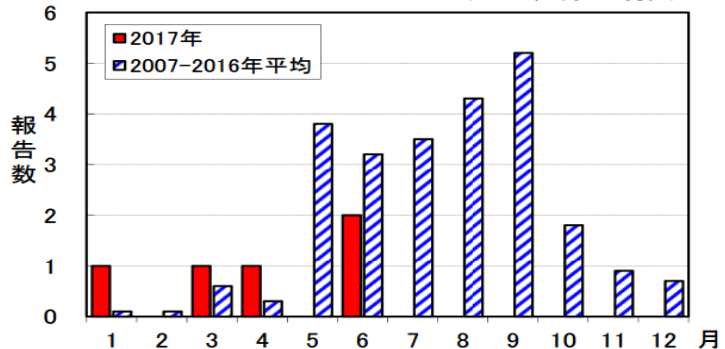
2. 手足口病

定点当たり5.17人と、3週続けて増加しています。

手足口病、咽頭結膜熱やヘルパンギーナは、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。感染予防には、日頃からのしっかりとした手洗いと、排泄物の適切な処理が大切です。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2017年6月4日現在)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね
フィルン	インフルエンザ	1	0.03	0.25		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.67		急増減	↑			前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	20	0.83	0.58	↗	眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.13		増減	↗	↘		前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	96	4.00	2.93	↗		急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↗	↘		前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	感染性胃腸炎	159	6.63	8.21	↗		流行性角結膜炎	7	0.88	0.64		横ばい	↔	↔		ほとんど増減なし
	水痘	7	0.29	1.00	↓		細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。				
	手足口病	124	5.17	0.62	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-						
	伝染性紅斑	-	-	0.16			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20						
	突発性発しん	10	0.42	0.67			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
	百日咳	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-						
	ヘルパンギーナ	12	0.50	0.44												

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	61	女性(40歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	女性(10歳代)・O26・1人、女性(30歳代)・O26・1人
5	アメーバ赤痢	1	7	男性(60歳代)
5	播種性クリプトコックス症	1	1	男性(50歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 気管支炎 肺炎	4	男	2017/04/09	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型 ライノウイルス
手足口病	発熱 発疹 口内炎	1	男	2017/04/16	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	丘疹 水疱	0	男	2017/04/19	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.8) 肺炎 肝機能障害	1	女	2017/04/09	咽頭拭い液 鼻汁 糞便	ライノウイルス アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 肺炎	0	男	2017/04/11	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	肺炎	0	女	2017/04/14	咽頭拭い液	百日咳菌 ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	咳嗽	4	女	2017/04/16	咽頭拭い液 鼻汁	コクサッキーウイルスA6型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 発疹 気管支炎	2	男	2017/04/19	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA9型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 上気道炎	0	男	2017/04/20	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎 気管支炎 鼻炎	11	男	2017/04/25	喀痰	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛 腸重積	3	女	2017/04/19	糞便	アデノウイルス31型
その他の疾患	発熱(38.6)	0	男	2017/04/24	糞便 鼻汁	エコーウイルス25型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載